

3.11  
発災

対応

未来へ  
繋ぐ

# 東日本大震災

3.11 伝承・減災プロジェクト

## 大津波襲来

## つめあと



## 道を切り開く・・・啓開

## 生活を守る・・・応急対応

## 復旧へ

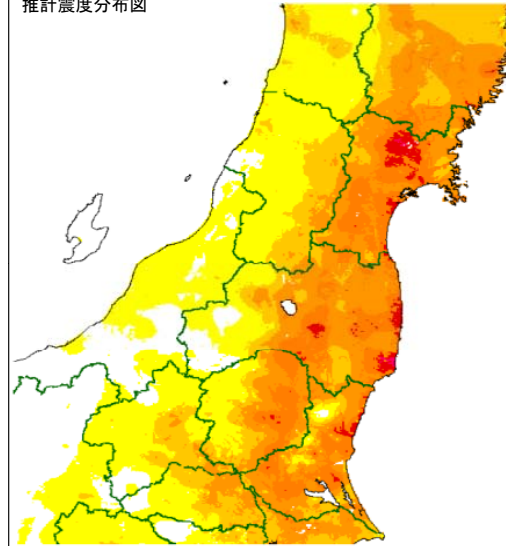


## 復興へ

## 伝承・・・そして減災

# 最大震度7

推計震度分布図

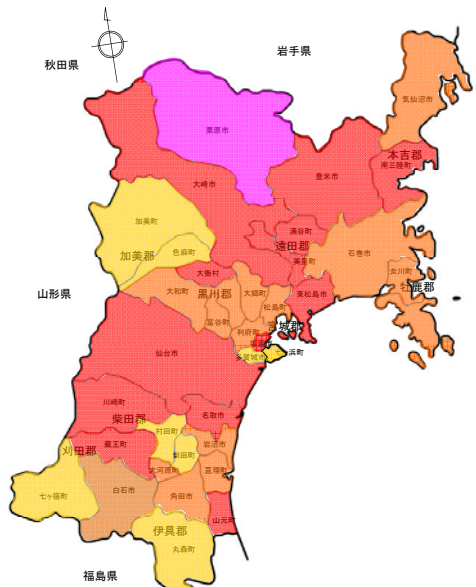


【震源要素】  
2011年03月11日14時46分 三陸沖 M7.9  
【観測時刻】  
2011年03月11日15時01分

気象庁発表資料



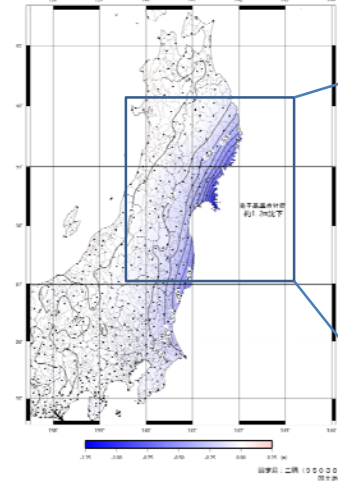
# 県内ほとんどで震度6弱以上



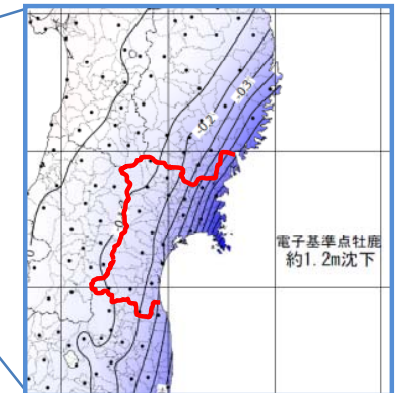
仙台市	6強	川崎町	6強
石巻市	6弱	丸森町	5強
塩竈市	6強	亘理町	6弱
気仙沼市	6弱	山元町	6強
白石市	6弱	松島町	6弱
名取市	6強	七ヶ浜町	5強
角田市	6弱	利府町	6弱
多賀城市	5強	大和町	6弱
岩沼市	6弱	大郷町	6弱
登米市	6強	富谷町	6弱
栗原市	7	大衡村	6強
東松島市	6強	色麻町	5強
大崎市	6強	加美町	5強
蔵王町	6強	涌谷町	6強
七ヶ宿町	5強	美里町	6強
大河原町	6弱	女川町	欠測
村田町	5強	南三陸町	6弱
柴田町	5強		

# 土地が沈む・・・地殻変動

木震 (M9.0) に伴う地殻変動  
等変動量線図 (上下変動量)



石巻市牡鹿で1.2mの沈下



大津波襲来  
発災

### 気仙沼市



大津波襲来  
発災

### 女川町



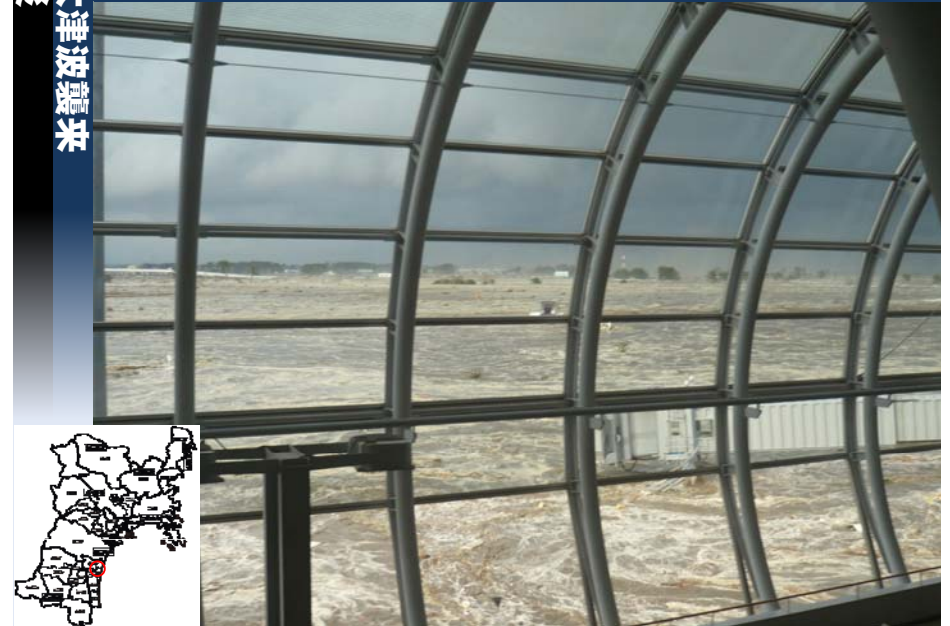
大津波襲来  
発災

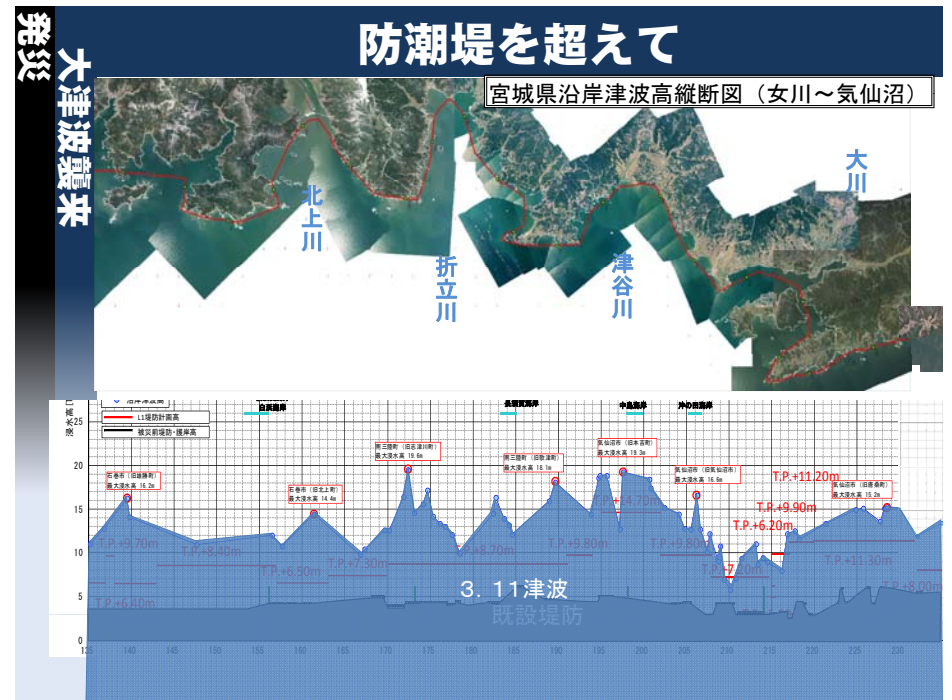
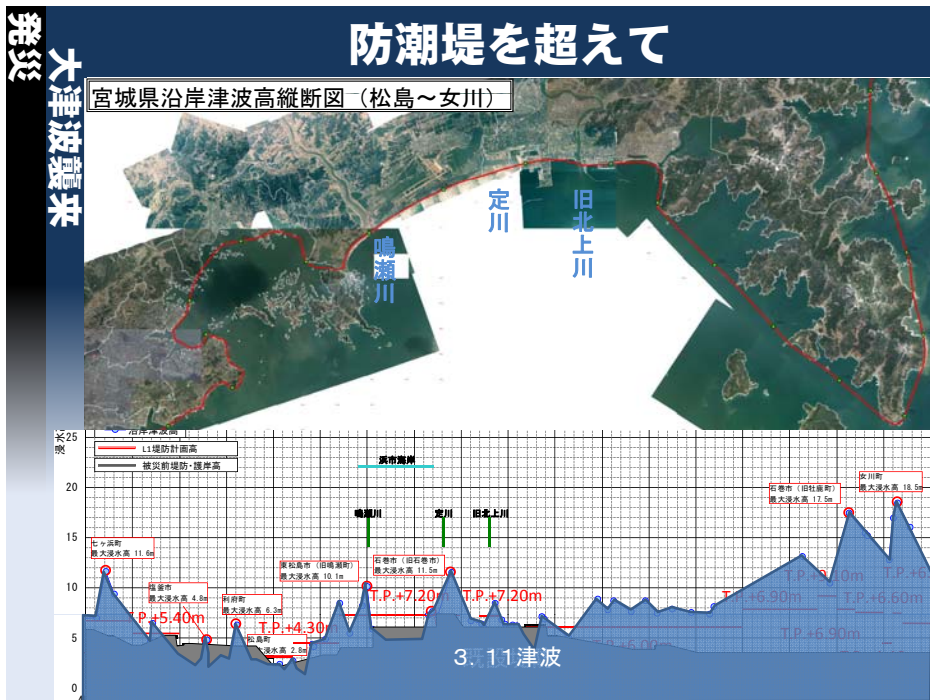
### 仙塩浄化センター（多賀城市）



大津波襲来  
発災

### 仙台空港（名取市）







被災  
つめあと

### 女川町（被災前）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

### 女川町（被災後）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

### 石巻市 旧北上川（被災前）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

### 石巻市 旧北上川（被災後）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

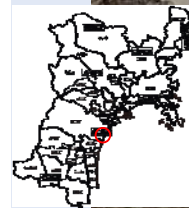
# 仙台市若林区荒浜（被災前）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

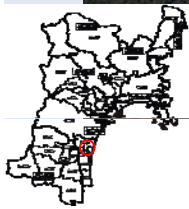
# 仙台市若林区荒浜（被災後）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

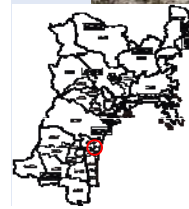
# 仙台空港（被災前）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

# 仙台空港（被災後）



写真提供：社団法人東北建設協会

被災  
つめあと

### 亶理町鳥の海（被災前）



被災  
つめあと

### 亶理町鳥の海（被災後）



被災  
つめあと

### 南三陸町



被災  
つめあと

### 名取市関上



# 仙塩浄化センター（多賀城市）

被災  
つめあと



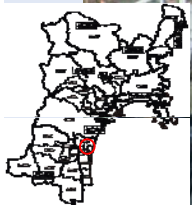
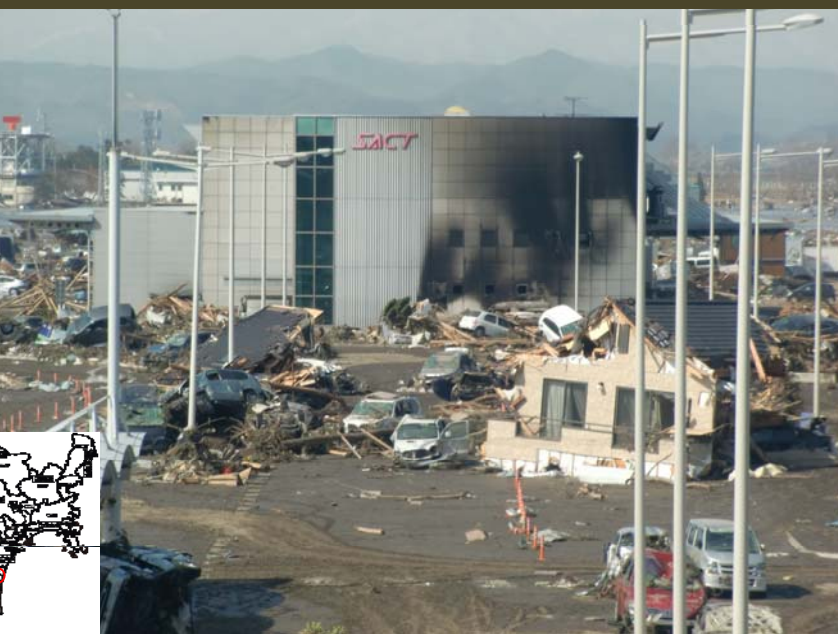
# 仙台空港

被災  
つめあと



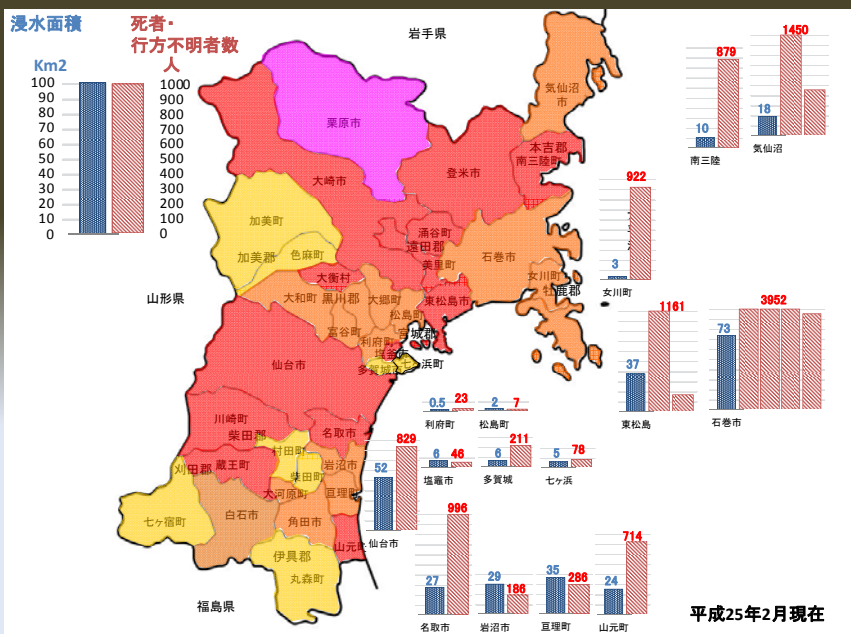
# 仙台空港

被災  
つめあと



# 浸水面積と死者・行方不明者

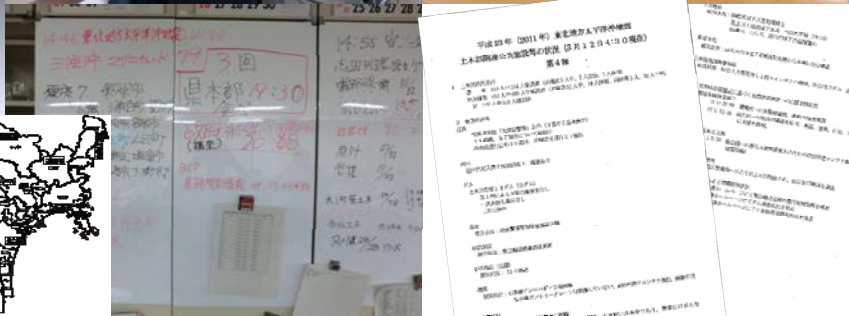
被災  
つめあと





対応  
復旧へ

# 災害対策本部会議



対応  
道を切り開く・・・密開

# くしの歯作戦



## 「くしの歯作戦」、 決行。

命の道を切り開く、一刻を争う戦いへ。  
「くしの歯作戦」は、内閣府主催の緊急地震速報と国道4号から、「くしの歯」のように道路網に伸びる何本もの道路を、救命・救急ルートに向けて切り開く作戦のこと。  
想像を超える巨大津波は、太平洋沿岸の各地に壊滅的な被害をもたらし、がれきりや津波の流出で道路網の各地を孤立させた。国土交通省 東北地方整備局の災害対策本部では、緊急復旧の中心として、道路網を緊急復旧の中心として、救命・救急ルートに向けて切り開く作戦を決定し、密開作戦を断行した。



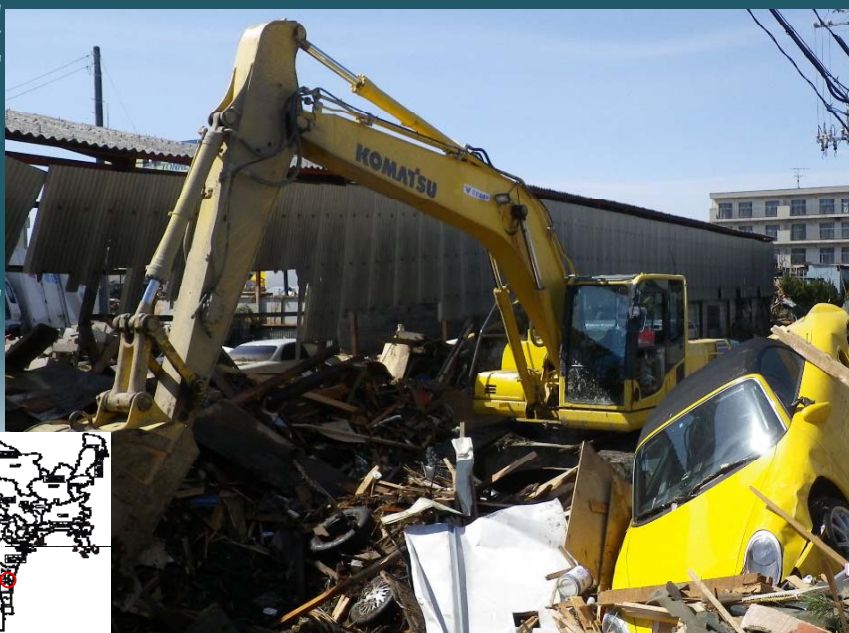
## 2日間で、 11ルート確保。

がれきを処理し、段差を直し、救命・救急ルートを切り開いた。  
救命の命を奪い、被災者に緊急物資も届けるルートを確保せよ。  
被災地域に立ち寄り「くしの歯作戦」のもと、道路網の「密開」が実施された。密開とは、切り開くこと。道の職員、地元自治会、地元消防団、国土交通省 東北地方整備局の職員たちが一丸となって、がれきの中を突き進んだ。作業が順次、津波被害が甚だしい、「一人でも多くの命を助けるために」という思いで懸命の作業が続いた。それにより、翌日の12日には11ルート、13日には18ルートが開かれ、救急車や救急隊、自衛隊などの緊急車両が通行可能に。医療チームも被災地に入ることができ、支援物資なども届けられることとなった。



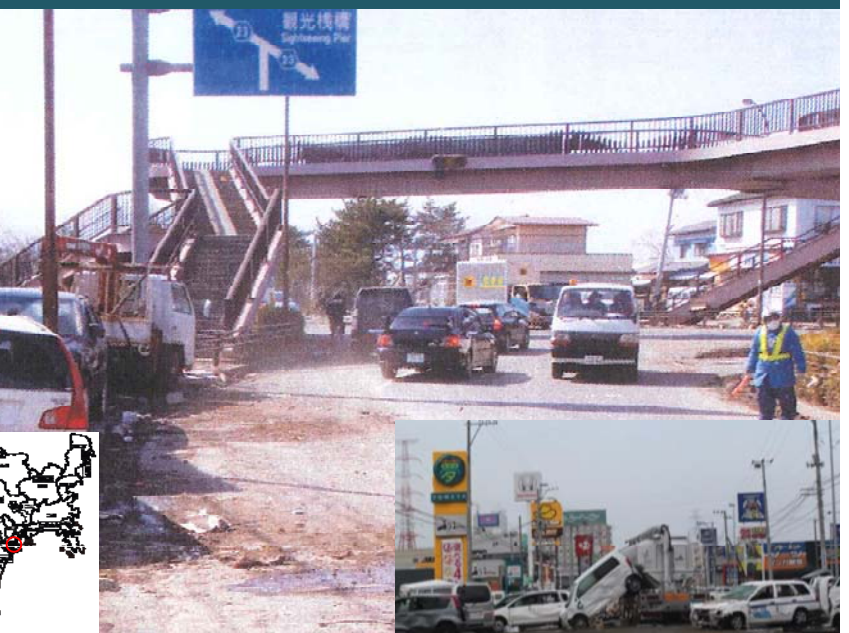
対応  
道を切り開く・・・密開

# 岩沼市臨空団地



対応  
道を切り開く・・・密開

# 仙台塩釜線（多賀城付近）



## 排水ポンプ車

国土交通省

【仙台空港北部の湛水状況】平成23年3月27日撮影

湛水区域が縮小

トンネル部 3月28日着手

トンネル部 4月2日完了

早期排水により仙台空港再生に大きく寄与

6/20 石巻市横川地区排水状況

## 砂押川（多賀城市八幡）

生活を守る・・・応急対応

## 南三陸町 八幡川

道を切り開く・・・密閉

## 女川牡鹿線 野乃橋

生活を守る・・・応急対応

女川原発方面への通行を確保

対策

生活を守る・・・応急対策

### 国道398号内海橋（石巻市）



石巻市街  
旧北上川内海橋の  
通行を確保

対策

生活を守る・・・応急対策

### 石巻鮎川線 葉木沢橋（石巻市）



対策

生活を守る・・・応急対策

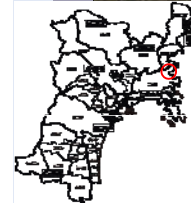
### 松ヶ島橋（東松島市）



対策

生活を守る・・・応急対策

### 白浜海岸（石巻市北上町）



被災  
復旧

# 仙台空港 米軍による車輛撤去

3/22

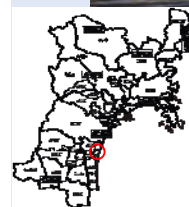


3/23 救援物資運搬車輛



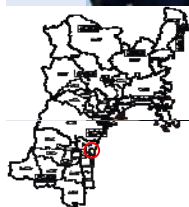
被災  
復旧

# 仙台空港 (がれき撤去が進む)



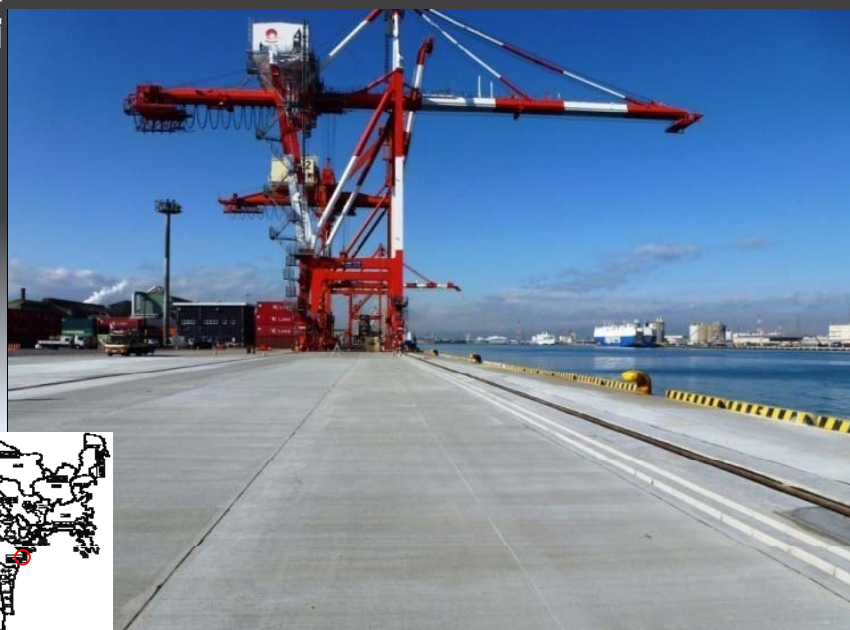
被災  
復旧

# 仙台空港 (国内民航機就航H23.4/13)



被災  
復旧

# 仙台港 (高砂2号岸壁)



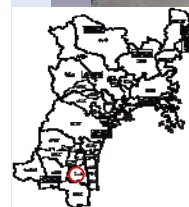
対処  
復旧へ

### 仙台港（高砂2号岸壁）



対処  
生活を守る・・・応急対処

### 国道349号（角田市江尻）



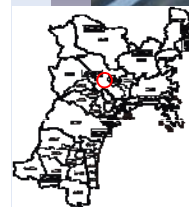
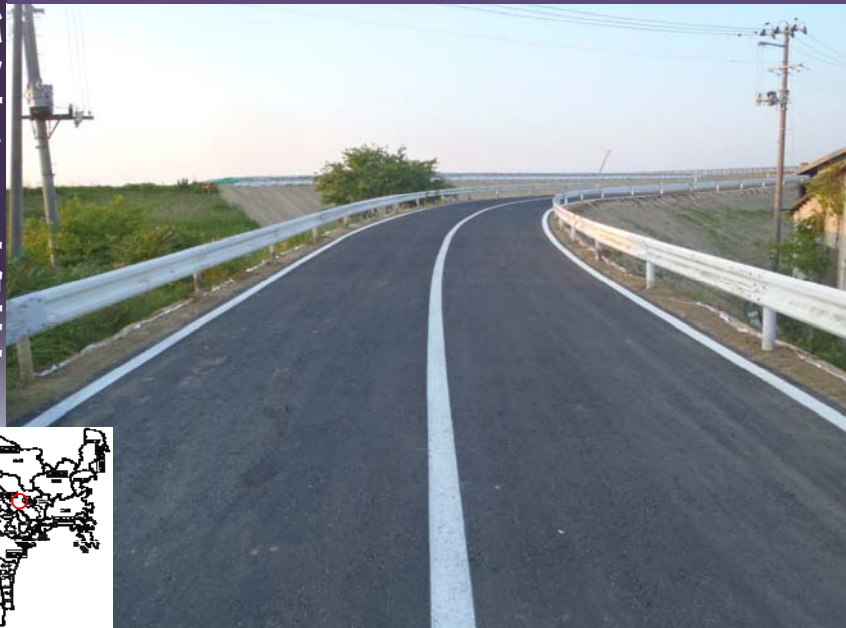
対処  
生活を守る・・・応急対処

### 多田川（加美町下狼塚）



対処  
生活を守る・・・応急対処

### 古川松山線（大崎市松山 志田橋付近）



**対岸** 生活を守る・・・応急対応

## 国道398号新北上大橋 仮橋

平成23年10月17日





**対岸** 生活を守る・・・応急対応

## 石巻工業港矢本線 定川大橋 仮橋

平成23年10月17日





**対岸** 生活を守る・・・応急対応

## 応急仮設住宅






**復興へ繋ぐ未来**

## 宮城県震災復興計画

平成23年10月 作成

**復旧期**  
H23～H25  
3年間

復興の「種」をまく

**再生期**  
H26～H29  
4年間

**発展期**  
H30～H32  
3年間

**■復興の基本理念**

**基本理念1**  
災害に強く安心して暮らせるまちづくり

**基本理念2**  
県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興

**基本理念3**  
「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」

**基本理念4**  
現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり

**基本理念5**  
壊滅的な被害からの復興モデルの構築

**■復興のポイント**

- 1 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 水産県みやぎの復興
- 3 先進的な農林業の構築
- 4 ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- 5 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築
- 7 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 未来を担う人材の育成
- 10 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

「宮城県震災復興計画」の部門別計画として、以下の計画を策定

平成23年10月	みやぎの農業・農村復興計画	平成23年10月	みやぎ森林・林業の震災復興プラン
平成23年10月	宮城県水産業復興プラン	<b>平成23年10月</b>	<b>宮城県社会資本再生・復興計画</b>
<b>平成23年12月</b>	<b>宮城県復興住宅計画</b>	平成24年 2月	宮城県地域医療復興計画

# 宮城県社会資本再生・復興計画

復興へ繋ぐ未来へ

■ 計画の役割と位置づけ

宮城県震災復興計画

部門別計画として

宮城県社会資本再生・復興計画

平成23年10月 作成

期別取組方針

- 復旧期** (H23~25年(約3年))  
被災した公共土木施設やライフラインの一日も早い復旧
- 再生期** (H26~29年(約4年))  
新しいまちづくりと併せた県土骨格インフラの整備推進と一層災害に強い県土づくり
- 発展期** (H30~32年(約3年))  
震災前を越えて、我が国をリードする先進的な防災・減災機能を備えた県土づくり

計画が目指す施策の実現レベルのイメージ

● 未曾有の大震災、大津波の教訓を踏まえて、新しい視点での社会資本整備のあり方を提示

● 計画の対象期間は平成23年度～平成32年度

計画投資額: 約2兆6千億円(H23~H32) 震災前の3.4倍

# 被災地域の特性と沿岸防護イメージ

復興へ繋ぐ未来へ

**高台移転・職住分離イメージ**

住宅エリア (Residential area) → 産業エリア (Industrial area)

大きいまま来襲 (Large-scale attack)

リアス地形(急峻な山地に囲まれた狭い平地) (Rias terrain: narrow flatland surrounded by steep mountains)

地形 (Terrain) → 平地部の浸水深・流速(津波特性) (Inundation depth and flow velocity in flatland (tsunami characteristics))

低平地(なだらかな平地が連続) (Lowland: continuous flatland)

内陸に向かい減勢 (Weakening towards inland)

**多重防御イメージ**

住宅エリア (Residential area) → 産業・農地エリア (Industrial/Agricultural area)

減衰 (Attenuation)

防炎緑地・防災林 (Fire-resistant green space/disaster prevention forest)

# 被災地域の特性と沿岸防護イメージ

復興へ繋ぐ未来へ

居住エリア (Residential area)

鉄道 (Railway)

産業・農地エリア (Industrial/Agricultural area)

防災緑地・防災林 (Disaster prevention green space/forest)

防潮堤 (Seawall)

● 設計津波高さの考え方

津波減災レベル(L2)

数mの越流 (Several meters of overtopping)

津波防護レベル(L1)

防潮堤 (Seawall)

粘り強い構造 (Sticky structure)

	津波防護レベル(L1)	津波減災レベル(L2)
想定	数十年から百数十年の頻度で発生すると考えられる津波	津波防護レベルをはるかに上回り、構造物対策の適用限界を超過する津波
防護目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命保護、日常生活機能維持</li> <li>財産保護</li> <li>経済活動の継続</li> <li>発災直後に必要な沿岸部機能の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命保護</li> <li>経済的損失の軽減</li> <li>二次災害の防止</li> <li>早期復旧</li> </ul>
対象津波	明治三陸(1896) 千代津波(1960)等	貞観津波(869) 今次津波(2011)等

# 沿岸防護施設の粘り強い構造

復興へ繋ぐ未来へ

居住エリア (Residential area)

鉄道 (Railway)

産業・農地エリア (Industrial/Agricultural area)

防災緑地・防災林 (Disaster prevention green space/forest)

防潮堤 (Seawall)

● 海岸堤防における被災メカニズム

**押し波時** (Pushing wave time): 津波の越流 (Tsunami overtopping), 堤防の一部破損 (Partial seawall damage), 背後の侵食 (Erosion behind), 侵食の進行 (Progression of erosion)

**引き波時** (Retreating wave time): 破堤箇所などの開口部から海に流出 (Outflow from openings), 戻り流れ (Return flow), 堤防の倒壊 (Seawall collapse)

● 粘り強い構造の考え方

津波が海岸堤防を越流した後の洗掘防止 (Prevention of scouring after tsunami overtopping)

表法面の被覆 (Covering of the surface)

緩勾配化 (Gentle slope)

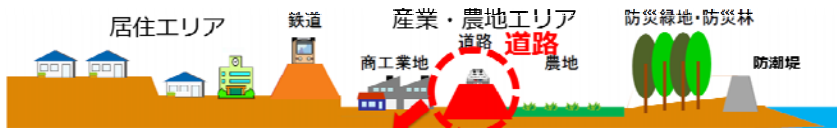
流速に対する堤防流失や堤体土の吸出し防止 (Prevention of seawall erosion and soil suction)

天端保護工、法面被覆工の重量、強度の確保 (Ensuring weight and strength of crest protection and slope covering works)

津波の波圧に対する波返工の倒壊防止 (Prevention of collapse of wave return work against tsunami wave pressure)

波返工への配筋 (Reinforcement for wave return work)

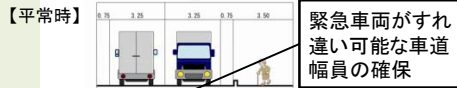
# 避難路・救出路の整備



●早期通行を確保する盛土構造

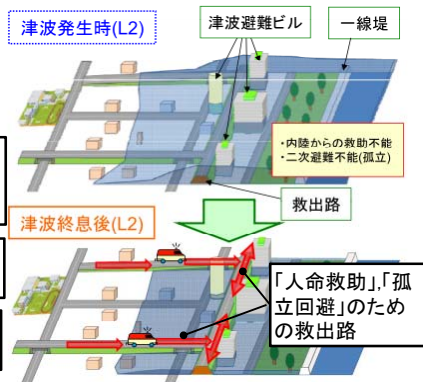
・盛土高2m以上の道路は被災後1日に冠水が概ね解消  
 ・早期通行確保が必要な避難路・救出路は、2m以上の盛土構造とすることが望ましい。

●避難路としての機能を考慮した幅員



道路幅が狭い場合は全面破壊の事例が確認されており、一定の広さが必要

●内陸部から避難ビルなどを結ぶ、早期通行が可能な道路ネットワークの構築

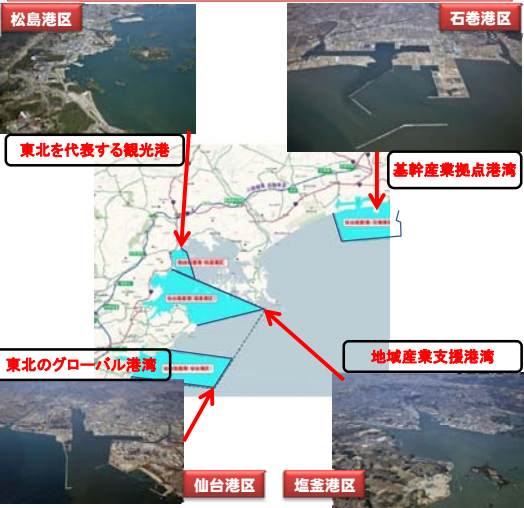


# 港湾などの広域交通拠点の整備

- 国際拠点港湾 仙台塩釜港
- 重要港湾 石巻港 松島港
- 地方港湾

## 東北唯一の国際拠点港湾 仙台塩釜港

『東北の産業の競争力を高め、産業・雇用・暮らしを守り発展させる』ことを目指す



- ◆効率的・効果的な復旧計画
- ◆投資効果の最大化
- ◆東北の産業競争力等をけん引
- ◆広域的な防災体制の構築

三港統合一体化により、港湾機能と既存ストックの有効活用が可能

新たな国際拠点港湾仙台塩釜港 (平成24年10月17日)

東北をけん引する中核的国際拠点港湾の実現

# 防災道路ネットワークの整備

## 三陸縦貫自動車道 (国土交通省)

- ◆命の道として機能を発揮
- ◆被災地復興のリーディングプロジェクト
- ◆概ね10年程度で供用予定

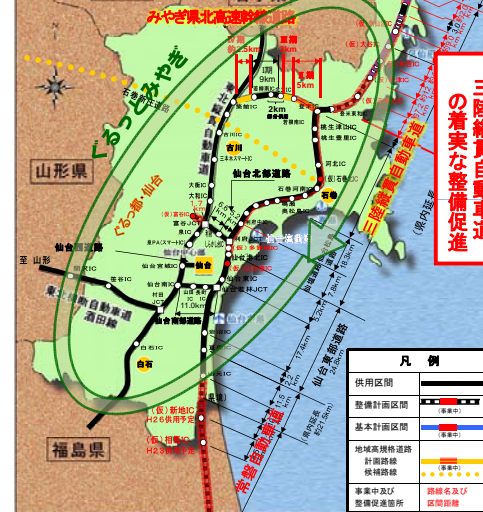
## みやぎ県北高速幹線道路 (宮城県)

- ◆東西連携を強化する復興支援道路
- ◆三陸縦貫自動車道の供用に合わせ整備

- ◆県土の早期復旧・復興に寄与
- ◆防災道路ネットワークの形成

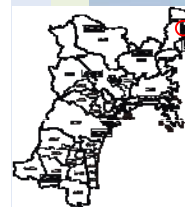
早期整備が重要!

みやぎ県北高速幹線道路の着実な事業推進と未着工区間の早期事業化



# 大島架橋事業着手式

平成24年1月27日(金)



完成イメージ



## 仙台湾南部海岸 着工式

平成24年1月29日

H25.2月現在の様子

3月23日完成予定

## 大曲海岸 着工式

平成24年3月3日

## 仙塩浄化センター下水処理開始式

平成24年4月25日

## 石巻港 災害復旧工事着工

平成24年6月4日

復興への道へ

H24 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 H25 1月 2月 3月

復興への道へ

H24 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 H25 1月 2月 3月

復興への道へ

H24 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 H25 1月 2月 3月

復興への道へ

H24 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 H25 1月 2月 3月

## 国道113号 館矢間バイパス開通

平成25年5月31日

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月  
H25  
1月 2月 3月

## 菖蒲田海岸 着工式

平成24年6月7日

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月  
H25  
1月 2月 3月

## 夢メッセみやぎ 復旧

平成24年6月29日

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月  
H25  
1月 2月 3月

復興元年

## 仙台松島道路 4車線化

平成25年7月12日

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月  
H25  
1月 2月 3月

中ではパネル展も開催してます

平成25年8月8日

## 平日パーキングエリア オープン

# 戸倉海岸 着工式

平成24年8月31日



工事が進む戸倉海岸 (H25.2月状況)



復興年  
 計画  
 H24 1月  
 2月  
 3月  
 4月  
 5月  
 6月  
 7月  
 8月  
 9月  
 10月  
 11月  
 12月  
 H25 1月  
 2月  
 3月



# 被災市街地復興土地区画整理事業

## ■事業予定：約34地区

### 石巻市 被災市街地復興土地区画整理事業(新蛇田地区)

**【事業概要】**  
 施行者 石巻市  
 施行区域面積 46.5ha  
 総事業費 9,851,000千円  
 施工期間 平成24年度～平成32年度

平成24年7月20日(金) 於 県庁内  
土木部長から石巻市長へ手渡し



設計図

■住宅供給想定戸数  
1,460戸 (防集移転含む)  
 ■平成26年から一部地区  
建築可能となる見込み

復興年  
 H24 1月  
 2月  
 3月  
 4月  
 5月  
 6月  
 7月  
 8月  
 9月  
 10月  
 11月  
 12月  
 H25 1月  
 2月  
 3月

# 防災集団移転促進事業

## ■実施予定：県内約185地区

### ■岩沼市 防災集団移転促進事業(玉浦西地区) 起工

住民意向を聞きながらまちづくり計画を策定




玉浦西(大臣同意済)

平成24年8月5日(日)  
於 事業地  
起工式(搬入の様子)



復興年  
 H24 1月  
 2月  
 3月  
 4月  
 5月  
 6月  
 7月  
 8月  
 9月  
 10月  
 11月  
 12月  
 H25 1月  
 2月  
 3月

# 災害公営住宅整備事業

## ■整備予定戸数：約15,000戸 (21市町)

## ■整備状況：18市町 65地区 4,230戸 (H25.2月末現在)

### 山元町新山下駅周辺地区(第一期)災害公営住宅



山元町



完成予想図

**整備概要**

- 敷地面積 約12,000㎡
- 建物用途 住宅(災害公営住宅)
- 計画戸数(今般着工戸数)
- 2DK 約55㎡ 15戸(11戸)
- 2LDK 約65㎡ 20戸(9戸)
- 3LDK 約80㎡ 15戸(6戸)
- 集会所 約110㎡ 1棟
- 構造・階数  
木造(在来工法)  
平屋建又は2階建(二戸一住宅)  
※地域産材を活用した在来木造構造



災害公営住宅見学会



造成状況  
(H24.11.15現在)

復興年  
 H24 1月  
 2月  
 3月  
 4月  
 5月  
 6月  
 7月  
 8月  
 9月  
 10月  
 11月  
 12月  
 H25 1月  
 2月  
 3月

復興へ  
歩む  
一歩  
H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 復旧・復興への歩み

H24.10.14



共同冷蔵庫の完成(女川町)  
＜カタルによる支援＞

H24.8.20



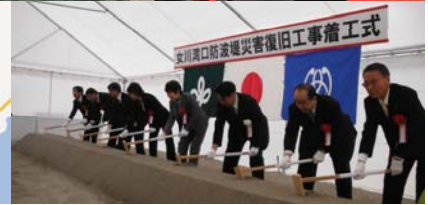
BRTでの復旧  
(気仙沼市～南三陸町)  
＜JR気仙沼線＞

復興  
元年

復興へ  
歩む  
一歩  
H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 女川湾口防波堤災害復旧工事 着手

平成24年10月17日



復興  
元年

復興へ  
歩む  
一歩  
H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 弘川ダムのダム湖命名式



平成24年11月1日



田東湖(たつがねこ)



弘川ダム 試験湛水式及びダム湖命名式

復興  
元年

復興へ  
歩む  
一歩  
H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 三陸沿岸道路の「即年着工」起工式



平成24年11月3日



復興  
元年

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式

平成24年11月14日



気仙沼港は発災後、被災地への資材等の物資供給の拠点として、また、ガレキの仮置き場として機能を果たしてきました。全体の完成を、平成27年度内を目指して着工しました。

復興元年

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 仙台東部道路 「仙台港IC」 供用開始

< 仙台港IC～仙台港 路線図 >

平成24年12月1日



広域物流、防災拠点として、一層の機能強化が図られます

復興元年

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 下水処理施設 復旧へ

石巻東部浄化センター第3系水処理施設を再稼働！

平成24年12月25日

平常時においては、震災前と同等の水質で放流できるようになり、生活環境のより一層の改善が図られます。



仙塩浄化センター汚泥焼却施設燃焼開始式

平成25年 1月25日

下水処理の主な機能(水質浄化、汚泥の処理)が復旧していくことで、震災前同様の安定した下水処理が可能となります。



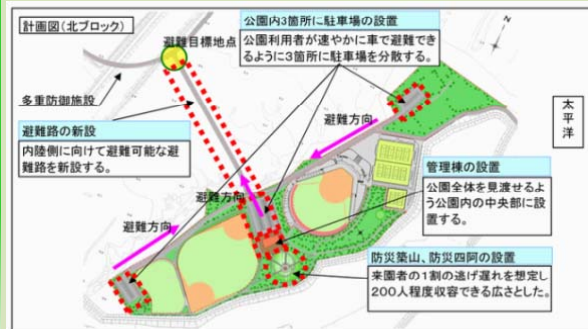
復興元年

復興へ  
歩みを進めよう

H24  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
12月  
H25  
1月  
2月  
3月

# 岩沼海浜緑地 復旧工事着工

平成25年1月29日



災害廃棄物(ガレキ)の仮置き場として役に立った後、復旧・復興工事に着手！

緊急避難場所としての築山を高く、広くするなど、利用者が安全に、安心して遊べる災害に強い公園を目指す。

復興元年

復興へ  
繋ぐ  
未来へ

# 志津川トンネル 貫通

平成25年3月3日



H24 1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月  
9月  
10月  
11月  
H25 1月  
2月  
3月

復興元年

# 復興だより

復興へ  
繋ぐ  
未来へ



# 3.11伝承・減災プロジェクト

復興へ  
繋ぐ  
未来へ



# 津波浸水状況表示板

復興へ  
繋ぐ  
未来へ



# 災害時における応援協定

平成24年10月23日



「災害時における被災住宅の応急修理に関する協定」調印式  
宮城県建設職組合連合会 一般社団法人みやぎ中小建設業協会 宮城県優良住宅協会 宮城県

被災住宅の応急修理に

平成24年12月19日



「大規模災害時における応急対策業務の応援に関する協定」調印式  
宮城県 一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会

# 応援をいただいている自治体への報告

- 訪問都道府県
- 北海道
  - 秋田県
  - 山形県
  - 埼玉県
  - 千葉県
  - 東京都
  - 神奈川県
  - 新潟県
  - 富山県
  - 石川県
  - 山梨県
  - 岐阜県
  - 愛知県
  - 兵庫県
  - 奈良県
  - 鳥取県
  - 山口県
  - 徳島県
  - 愛媛県
  - 高知県
  - 福岡県
  - 佐賀県
  - 熊本県
  - 大分県
  - 宮崎県
  - 鹿児島県
  - 沖縄県

報告に使用した資料(抜粋)

- 宮城県の津波避難に関する取り組み
- 復旧復興の取り組み(漁港編)
- 復旧復興の取り組み(土木部編)

3.11 伝承・減災プロジェクト

# 津波防災シンポジウム

～歴史が伝える津波，歴史にしていづく津波～

平成24年5月26日(土) 開催

平成25年は5月25日に開催予定

千葉工業大学 惑星探査研究センター 上席研究員 後藤 和久氏

3.11 伝承・減災プロジェクト

東北大学 災害科学国際研究所 教授 越村 俊一氏

復興元年

# 東北復興フォーラム in 宮城 開催

平成25年1月31日

第十部発表者の皆様

村井宮城県知事 挨拶

徳山整備局長 佐藤町長

首藤名誉教授 大石理事長

皆川県議

フォーラムの参加者と一緒にみやぎ・東北の早期復興を願い、皆川県議のサクソフォンとともに「花は咲く」を合唱し、フォーラムを締めくくりました。

3.11 伝承・減災プロジェクト

# 復旧復興パネル展を各地で実施



3.11 伝承・減災プロジェクト

# 記録誌と職員の証言



東日本大震災 職員の証言 (想い)  
「そのとき、それから、これから  
あの日を忘れない」



平成24年3月  
宮城県土木部

# 土木部業務継続計画 (BCP) 改訂

3.11 伝承・減災プロジェクト

**課題から見直した主なもの**

東日本大震災の対応を検証し、土木部業務継続計画(BCP)を改訂しました。

- 沿岸地域への支援**
  - 組織としての支援(エリア支援)体制の確立。
  - 近隣事務所間の相互支援体制の確立。
- 配備・避難体制**
  - 津波警報等が発表された場合、津波浸水区域から避難することを規定。
- 通信手段**
  - 通信手段の一層の多様化を推進。(PHS配備)
  - 衛星携帯電話を各事務所へ複数台設置。
- 緊急車両**
  - 事前に緊急車両の届け出を所轄警察署に提出し、承認を取得。
- 安否確認**
  - 本部(県庁)で安否情報入手可能となるように、システムの運用方法を改定。

平成25年2月  
宮城県土木部

## BGM

- ヘッドライト・テールライト
- 地上の星
- あすという日が
- 花は咲く
- 中島みゆき
- 中島みゆき
- 夏川りみ
- ピアノ：辻井伸行
- 合唱：郡山市立安積中学校合唱部



2013.4.1 - 6.30 仙台・宮城 デスティネーションキャンペーン

# 笑顔咲くたび 伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

心と心が  
結ばれる  
春のひととき

仙台・宮城

うつくしいふるさと  
新生宮城の発展に向けて

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会



## 3.11 伝承・減災 プロジェクト

復興をリードします

復興加速  
復興実感

宮城県土木部

がんばるっちゃ!



笑顔咲くたび 伊達な旅  
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城